

東日本大震災による東松島市の被害状況

2011年(平成23年)3月11日14時46分、宮城県牡鹿半島の東南東沖130キロメートルの太平洋の海底を震源とする東北地方太平洋沖地震が発生。地震の規模はモーメントマグニチュード(Mw)9.0で最大震度は震度7(宮城県栗原市)、発生時点において日本周辺における観測史上最大の地震です。

本市でも震度6強を記録し、野蒜地区では浸水高10.35m(第1波)、大曲浜地区では5.77mを記録し、両地区では壊滅的な被害を受けました。浸水面積は、実に市の面積(101.86km²)の約36%(37km²)で、その内住宅用地(市街地12km²)の約65%(8km²)が浸水するという甚大な被害を受けました。



▲野蒜地区 津波により東名速河に流された家



▲野蒜地区 住宅地が消滅した新町



▲宮戸月浜地区 堤防も破壊され住宅も流出



▲大曲浜地区 港から住宅地を抜け流された船



▲大曲地区 水田の中災まで流された家



▲南赤井地区 1週間以上もJR仙石線の線路まで冠水



▲南赤井地区 矢本第二中学校校庭で水没している避難者の車



▲大曲地区 津波に押されて車が集積

- 人的被害** (2014年(平成26年)3月1日現在)
 - 死者 1,109人(東松島市民、市外での死者含む)
 - 行方不明 25人
- 家屋被害** (2013年(平成25年)12月31日現在)
 - ※り災証明書発行件数 合計 14,579件
 - 全壊 5,513件 ●大規模半壊 3,606件
 - 半壊 2,500件 ●一部損壊 3,506件
- 公共施設の被害金額** (被害調査継続中)
 - 公共施設(庁舎等) 9.86億円
 - 市道・橋梁等施設 100.07億円
 - 下水道施設 74.48億円 ●教育施設 92.64億円
 - 福祉施設 12.23億円 ●保健施設 0.21億円
 - 農林水産施設 363.61億円
 - 観光施設 3.57億円 ●情報施設 3.90億円
 - 防災施設 8.14億円

合計 668.71億円